



NPO PTPL “ともいき” 便り No.153

平成30年（2018年）8月23日発行

■処暑（しよしよ） 平成30年8月23日から9月7日までの節気

暑い暑い夏に、もうすぐさようならですね。23日から9月7日まで「処暑」の節気にはいります。暑さがひと段落してひと雨ごとに秋らしくなっていくころです。先週、花屋さんでお盆のために花を買いました。黄色、ピンク、白の小菊の束のなかにリンドウが1本はいつているのを選びました。紫色のリンドウが涼しげだったからです。さっぱりとした姿と秋の七草のひとつでもあるので、日本の花かと思っていたら違いました。中国、インド、南ヨーロッパにも咲いていて、スイスではゲンチアンという名前ではばれているそうです。なんかいかめしい感じ。リンドウを漢字でかくと、「竜胆」。根っこに苦味があつて、熊の胆より苦いので竜の胆とかくようになったのだそうです。古くからマラリアの薬や胃腸薬として用いられました。花言葉は「悲しみにくれるあなたへ」。

秋の七草といえば、先日、人家のブロック塀とアスファルトの道路の隙間からススキが生えているのを見つけました。ススキの穂がツヤツヤしてきれいでした。今年の中秋の名月は9月24日（月）。お月見のときにはススキは必須アイテムですね。ススキの葉は細いのですが、葉のまわりはけっこう鋭くてスッと手の皮を傷つけてしまうことがあります。別名「テキリグサ」。こわい名前ですが、悪霊も切ってくれるそうなので中秋の名月にお供えする草花としてはぴったりですね。リンドウにススキ。小さな秋に出会えると、ほっとします。

9月1日は「二百十日」。暦の雑節のひとつで、立春から数えて二百十日目の日のことです。このころになると毎年台風が襲来しはじめるので、この日は厄日とか荒れ日などといわれています。ちょうど稲の花がさいて穂をだしはじめるころなので、台風は農家の人たちにとっては大打撃。そこで、二百十日直前か当日に風祭りをおこなったり、風よけのおまじないをしたりしました。たとえば、村人が鎮守にあつまっておこもりをして飲食をしたり、念仏を唱えたり。

また風切り鎌といって各家で竹竿の先に鎌を結びつけて風の方向に矛先をむけて屋根や庭先にたてました。この鎌が錆で赤くなると、風の神の血がついたなどとといったそうです。ちょっとどきっとしますが、風災害を避けたいという強い祈りを感じます。

9月1日から3日に行われる富山県八尾町の風祭りは、有名な風の盆です。稲の収穫を控えて暴風を鎮めるために、「おわら節」にあわせて夜通し踊り続けます。さらに富山県砺波地方には、「ふかぬ堂」とよばれる風神を祀るお堂がいくつもあるそうです。7月の末に山形にいつてきました。青々とした稲がいい感じに生長し、その上を風が縦横無尽にさらさらと吹き遊んでいました。今ごろはまたぐんと生長していることでしょう。どうか、秋にはおいしいお米ができますように！風の神様、お願いします。大暴れは自粛してくださいますように。

今イチジクがとてもおいしいです。わたしが子どものころは庭にイチジクの木がありました。葉をちぎると、そこから白い汁がでるので「ミルク」といっておままごとにつかいました。イチジクはぐちゃぐちゃに熟した状態のが好きです。母も祖母も完熟イチジクが好きだったそうです。親子3代、遺伝かな。

これから、どんどん旬の果物がでてきます。涼しくて冷房がきれる秋が待ち遠しいです。みなさま、もう一息です！

くれぐれも、体調を崩されませんように。

すとう あさえ (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 会員)

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。それは日本的なるもの「ジャパネスク」

●8月の気候を振り返ってみると。

過酷な夏、夏が長期化?!!

台風13号が今週の中頃から週末にかけて関東に上陸するという予報、そして通過した後はまた、夏がぶり返すということ。難儀な夏です。

今年の夏、これほどまでに自然災害に対して不安を感じる夏はなかったのではないのでしょうか？

自然に従い、自然との限りない調和を求めて暮らす平穏な日常に、一日も早く戻りたいですね。

不安定な夏の天気、いつまで？

8月13日（月）から8月16日（木）の月遅れのお盆を中心に、こんな不安定な天気でも、全国で日本人の大移動。夏休みをとる人、故郷に帰る人、旅行を楽しむ人、電車・道路も大混雑です。

8月9日（木）は台風14号が関東に接近、8月15日（水）は台風15号が九州に上陸、そして全国各地ではゲリラ豪雨。湿気の多い猛暑、今年の夏。

これほど多く自然災害の多い夏はあったでしょうか？

人と人、人と自然の豊かなコミュニケーション、そして、人と人、人と自然の助け合い、支え合い、結び合い、譲り合って生きることの大切さをつくづく実感しました。日本人の古くからの美徳、「お互いさま」の精神ですね。

日本 2018 ジャパネスク

あなたと日本の話をしてみたい。

discover japanesque

勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局便り

●月遅れのお盆が過ぎると、さすがに朝晩も少しはしのぎやすくなり、秋の気配が感じられる今日この頃です。皆さん、お盆休みはいかが過ごされましたか？
16日（木）の京都の五山の送り火も終わり、26日（日）の山梨県富士吉田市の吉田の火祭りをもって、夏も終わりを告げます、夏休みも終盤最後になり、子どもたちは思い出とともに宿題に追われていることでしょう。（私は毎年そうでしたので…。）

●是非、NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」：<http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」：<http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2016/>

「タピラス」：<http://www.tapirus.tv/>

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと富士山探し」

<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

●会員募集のご案内

NPO 活動（ジャパネスク運動）を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしくお願ひします。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

電話：03-6432-5911 FAX：03-6432-5912

Email：info@ptpl.or.jp